Ital+通信（イタル）



令和８年１１月１８日
玄海みらい学園通信№21
学園長　丹　野　　到

11月号

《学　園　校　訓》新・究・律・愛
《経営ビジョン》みらいにつながる学びをひらく
《学園教育目標》みらいをつくる　～切り拓き、リードする～



◆　瑞花双鳥八陵鏡（ずいかそうちょうはちりょうきょう）　◆





過日（11 月 11 日）、約 30 年前に玄海町の長倉遺跡から出土した瑞花双鳥八陵鏡（ずいかそうちょうはちりょうきょう）【実物】が、本学園みらいホールに展示されました。

この八陵鏡は、平安時代のものとされ、佐賀県内で出土した唯一の完形品（欠けていないもの）だそうです。そして、全国的に見ても他にない一品で、令和８年４月に佐賀県指定の重要文化財（考古資料）とされた貴重なものだそうです。

今回、本学園生のために、１日限定の特別公開をしていただき、昼休み等に多くの児童生徒が間近で見学することができました。また、玄海町文化財専門員さんから、出土した際の様子や歴史的価値等を分かりやすく説明していただきました。ありがとうございました。

◆　あおば園・ふたば園との交流　◆

写真は見えにくく加工しています



過日（11 月 11 日）、町内二保育園のあおば園とふたば園の年長さんが本学園を訪れました。当日は、1、２年生と一緒に学園内を探索したり、5 年生と一緒に給食を食べたりと、楽しい一日となったようでした。来年 4 月に、元気に入学してくれることを一同楽しみにしています。

◆　玄海町産業文化祭　◆





先日（11 月 14・15 日）、玄海町産業文化祭が開催されました。本学園からも書写やスケッチ等の作品を展示させていただきました。

日曜日に行われた開会式では、第 75 回九州高校弁論大会で最優秀賞に選ばれ、第 72 回文部科学大臣旗「全国高校弁論大会」にも出場された高校生（本校卒業生）の堂々としたスピーチが披露されました。

「軽トラというスポーツカーに乗って」という演題で、米作や畜産に汗水流す祖父の姿を通して、命を育て、命をつなぐ営みの農業に誇りを持ち、「農家のことをもっと知ってほしい」と力強く発表されました。

また、夜に行われた花火大会では、PTA 役員の方々に巡回指導を行っていただきました。ありがとうございました。

■山口県の瀬戸内海沿いに「金魚」みたいな形の島がある■周防大島（すおうおおしま）■その島の東端（しっぽのあたり）に日本一小さな水族館と呼ばれる「なぎさ水族館」がある■そこにあるタッチングプールには、ヒトデやなまこに交じって「サメ」が泳いでいる■なんと！そのサメを素手で触ることができる！（イタル）